

# 2017 年度 東京大学 前期 英語

## 第 1 問

### A

出題範囲	要約問題
難易度	★★☆☆☆
所要時間	12 分
傾向と対策	<p>文章は非常に読みやすい。具体例が多いので筆者のメッセージを読み取りやすく、まとめるべきポイントも多くないので難易度は決して高くない。時間をかけずに解ききってあとの問題に時間を割きたい。前年と同様、設問条件が「要約せよ」ではなく「要旨をまとめよ」となっているため、本文の言い換えを積極的に行うことが好ましい。要約問題に取り組むにあたって、この文章がつまり何をいいたいのか、ということに常に意識するようにしよう。</p>

#### 本文訳

ある広く受け入れられている考え方によれば、文化は国家によって多かれ少なかれ変わってくるものである。例えば、ビジネスを行うにあたって「日本式」(間接的・礼儀正しい)のやり方があるとされている。これは「アメリカ式」(直接的・積極的)や「ドイツ式」(真面目・効率的)とは異なったもので、成功するためには、取引相手の国のビジネス文化に適応しなければならない。

しかしながら、この考えに対し、ある最近の研究が異論をとなえている。35 年もの期間の中で行われた 558 もの過去の研究から得られたデータを利用して、この新しい研究は仕事に関連する 4 つの見解を分析した。それらは、「個人か集団か」、「階層や地位の重要性」、「危険性や不確定性を避けること」、そして「競争か集団的調和か」である。もし伝統的な考え方が正しいのであれば、国家間の違いは国家内の違いに比べてはるかに大きいものとなるはずである。しかし実際には、これら 4 つの見解について 80%以上もの違いが国家内でみられ、国家と関連した違いは 20%にも達しなかった。

したがって、少なくともビジネスという文脈においては、単純化してブラジルやロシアの文化について語ることは危険である。もちろん、共通の歴史や言語、食物やファッション、そしてその他多くの国家特有の慣習や価値観は存在する。しかし、グローバル化—一人々の移住と、科学技術や考えの交換の両方における—によってもたらされた多くの影響により、国家ごとにビジネス文化を一般化するという事はもはや受け入れられるものではない。タイにいるフランスの実業家は、おそらくフランス人よりもタイにおいて同等の立場にいる人とのほうがより多くの共通点をもっているだろう。

実際、出身国よりも職業および社会経済的地位のほうが、仕事での価値基準に対するよりよい予測材料となる。例えば、異なる国から来た 100 人の医者は、異なる職業に就いている 100 人のイギリス人に比べて、同じ見解をもつ可能性はるかに高い。言語的な問題はさておき、オーストラリア人のトラックドライバーはオース

トラリア人の弁護士よりも、インドネシア人のトラックドライバーとのほうがより気が合う可能性が高い。

交渉が成功するかどうかは、交渉相手の行動を予測できるかどうかにかかってくる。国際的な場面において国民性に対する認識にもとづいて判断している限り、私たちは予測を誤り適切な反応を取ることができない可能性がある。文化を国家によって定型化しては、ビジネスに失敗するだけだ。

### 解答例

グローバル化によりビジネス文化はもはや国ごとに形成されるものではなく、ビジネスで成功するには取引相手の出身国より職業や地位にもとづいて行動を予測するべきだ。(77 字)

### 解説

#### 段落要旨

第 1 段落	<p>〔既存概念の提示〕</p> <p>「各国には特有の文化があり、特にビジネスにおいてはその国のビジネス文化に従う必要がある」という一般に広く認められている概念を提示している。</p>
第 2 段落	<p>〔既存概念に対する反論の提示〕</p> <p>ある研究によって、仕事観の違いは国どうしよりも国内のほうが大きいことが示され、既存概念が覆されたということが述べられている。</p>
第 3 段落	<p>〔第 2 段落の内容からいえること〕</p> <p>グローバル化によって、ビジネス文化はもはや国ごとに形成されるものではなくなっている。(第 3 文)</p>
第 4 段落	<p>〔第 3 段落の内容の発展〕</p> <p>出身国よりも、職業や地位のほうが仕事観を理解するうえで重要である。(第 1 文)</p>
第 5 段落	<p>全体のまとめ</p> <p>取引相手を出身国の国民性で判断しては、相手の行動を適切に予測できずビジネスにおいて成功を収めることはできない。</p>

#### 解答の方針

以上の文章の大まかな流れを踏まえ、解答に盛り込むべき要素は以下の 2 点である。

1. (グローバル化により) ビジネス文化は国ごとに形成されるものではなくなっているということ
2. ビジネスで成功するために必要な考え方とは何か

## 1. グローバル化によりビジネス文化は国ごとに形成されるものではなくなっているということ

第 1 段落～第 3 段落の内容を簡潔にまとめる。「既存概念 (=国ごとに特有のビジネス文化が存在する)」が (ある最近の研究結果によって) 覆されたという内容をなるべく短くまとめた要素となっている。研究自体は文章の最もいいことではないので、解答に書き入れる必要はない。また「グローバル化」の部分は、ビジネス文化が国ごとに形成されなくなった原因として第 3 段落第 3 文で言及されており、必須の要素というわけではないが、制限字数内に収まりそうならば入れておきたいところだ。

## 2. ビジネスで成功するために必要な考え方とは何か

第 4 段落～第 5 段落の内容を簡潔にまとめる。全体のまとめにおいて、「取引相手を出身国の国民性で判断しては、相手の行動を適切に予測できずビジネスにおいて成功を収めることはできない」というのは、つまり「ビジネスで成功するためには相手をその出身国によって判断してはいけない」ということだが、では何によって判断すればよいかというと、第 4 段落で書かれているようにその人の「職業や地位」である。この流れをおさえて、簡潔にまとめる。

### 表現

interchangeable 「交換可能な, 取り替えできる」

hierarchy 「階層制度」

status 「地位, 身分」

correlate A with B 「A を B と関連づける」

simplistically 「単純に」

businessperson 「実業家, 経営者」

occupation 「職業」

socioeconomic 「社会経済的な」

predictor 「予測の判断材料となるもの」

Briton 「英国人」

walk of life 「職業, 階級」

A aside 「(名詞を後置修飾して) A はさておき, A は別にして」

stereotyping 「固定観念化」

(松永尚也, 峯岸佑奈)

## B

出題範囲	文章補充
難易度	★★★★☆☆
所要時間	10 分
傾向と対策	2016 年から変わって、2013～2015 年までと同様の文章補充問題に戻った。形式の変更ではあったが、その前の 3 年と同じ形式なので大きな混乱はなかっただろう。ただ、単語を補充する部分の難易度が高く、文章自体は読みやすかったが解答は苦勞したかもしれない。

## 本文訳

ある朝サイクリングをしていたら、ダッチャー・ケルトナー教授は九死に一生を得る体験をした。彼はこう回想する。「自転車に乗って大学に向かっており、曲がり角についた。私にはこの道の通行権があったが、大きな高級車はどうしてもスピードを落とさなかったのだ。」ぶつかるまであと 1m しかないところで、運転手はようやく止まった。「彼は驚きと軽蔑、両方の表情を浮かべていた。まるで私が彼の、より重要な行く手を阻んだかのように。」ケルトナーの最初の反応は怒りと安堵の混じりあったものであった。その日、彼の大学は心理学の教授を失わずに済んだのである。彼の次の反応はより学術的なものであった。高級車の所持者とそのほかの車の運転手の振る舞いの間には計測可能な違いが存在するのであろうか、と彼は考えた。

教授は心理学部の学生グループを派遣し、運転マナーを監察し、車の種類を書き留めさせた。彼らはどの運転手が横断歩道で歩行者に道を譲ったか、そしてどの運転手が歩行者を見て見ぬふりをして、急いでそのまま通り過ぎたかということを調べた。結果は火を見るよりも明らかなものであった。高級車を運転している人は低価格の車を運転している人に比べて、横断歩道で止まる割合が 4 分の 1 で、ほかの車の前に割り込む割合が 4 倍も高かった。車が高価になればなるほど、その所持者は交通法規を破る権利が与えられていると感じるのだ。

道路上で起こっていたことはまた研究室内でも起こった。いくつかの実験の中には、ケルトナーと彼の共同研究者がさまざまな所得層の被験者に対して行ったものもあった。ほかにも、被験者自身より力のない人や、力のある人のことを被験者に考えるように頼むことによって、あるいは自分のことを力がある、もしくは力がないと感じたときのことを考えるように頼むことによって、被験者に力がない、もしくは力があると感じさせようとした実験もあった。結果はすべて同じ方向を示していた。力があると感じた人々に思いやりがある割合は低かった。例えば、裕福な被験者は少額の現金の報酬がかかったゲームにおいて、いかさまをすることが多く、訪れた子ども用という印がつけられたお菓子の瓶の中に手を突っ込んでしまうことが多かった。小児がんについてのビデオを見ているときも、彼らの顔に憐みの表情がみられることは少なかった。

しかしながら、この結論を全員が受け入れるわけではない。ケルトナーと彼の同僚が 2010 年にそのテーマについて影響力のある論文を出版したとき、マーティン・コンドルファ、ステファン・シュムクレ、ボリス・エグロフという 3 人のヨーロッパ人学者は、ドイツで行われた調査から得られるはるかに大量のデータを用いて、研

研究室を拠点とした小規模な実験における発見を再現できるだろうかと考えた。構想としては、人々が日常生活で行っていると申告したことを記録したデータが、人間の行動に関して研究室でもたらされた結果と同じような結果を示唆するかどうかを調べるということだった。ボリス・エグロフはこう語る。「私たちはただ彼らの実験結果を再現したかっただけなのだ。その結果は私たちから見ると非常に信頼できるもののように思えた。」しかしながら、彼らが手に入れた数字は予想されたパターンに沿うものではなかった。全体として、その結果は正反対のことを示唆した。特権階級の人々は、データが示すところによると、その財産に比例して貧しい市民よりも慈善事業に対して気前がよく、ボランティアをすることが多く、スーツケースを持ち運ぶのに苦労している旅行者の手助けをしたり、隣人の猫の面倒を見たりすることが多い。

それでは、誰が正しいのだろうか。力のある人はそうでない人より親切なのか、それとも意地が悪いのか。私たちはどうやってこれらの 2 組のデータから生み出された、相反する答えに説明をつけることができるのだろうか。それは裕福な人々のほうが貧しい人々より利己的であることを隠すことが得意だからかもしれない。もし公共の場で寛大であることが報酬をもたらすのなら、裕福な人々は道路を渡ろうとする年老いた女性を助けようとする可能性が高いかもしれない。運転しているときなら、車の中ではほかから見えないため、彼らの名誉を傷つける危険な運転を気にする必要がなくなる。そしてケルトナーは、そのデータは、人々が自らの寛大さについて記述した話から得られたものであり、彼らの善行を実際に観察して得られたものではないのだと指摘した。

「裕福な人々は嘘をつくことが多く、倫理的な事柄について誇張することが多いことがほかの研究からわかっています。」と彼は言う。「経済学における自己申告のデータと心理学における差し向かいでのデータは異なる過程を捉える。私が社会の中で行っていると言ったことは、私が実際に人々に行っている振る舞いとは異なっているかもしれない。」

しかし問題が調査されたデータではなく、心理学的な実験に存在する可能性もある。2015 年 8 月、サイエンス誌は 270 人の学者のグループが、バージニア大学の心理学の名高い教授のブライアン・ノセックに先導されて、100 個の似たような心理学の研究の結果を再現しようと試みた、と報じている。検証したところ、もともとの研究のうち 97 個は仮説と矛盾のない結果を生み出した。ノセックのグループの実験のうちたった 36 個しか同じ結果にならなかった。それらの数字は実験心理学の分野全体を台無しにするおそれがあった。なぜなら、もし結果が再現されなかったなら、その結果は疑わしいものであるにちがいないからだ。そういうわけで、特権と利己心のつながりは依然証明されていないままだ。

**選択肢訳**

- a) しかしながら、この結論を全員が受け入れるわけではない。
- b) 道路で起きたことはまた研究室内でも起きた。
- c) したがって、特権と利己心のつながりは依然証明されていないままだ。
- d) それは裕福な人々のほうが貧しい人々より利己的であることを隠すことが得意だからかもしれない。
- e) しかしながら、この考えは学術的な世界の外でかなりの大評判を生み出していた。
- f) しかし問題が調査されたデータにではなく、心理学的な実験に存在する可能性もある。

**解説****(ア) 正解は violate**

空欄に入る単語を考える問題である。まずどのような意味の単語を入れるべきか考える。空欄は「the 比較級～, the 比較級～」構文中にあるので前半部分の内容を参照すると、「より豪華な車に乗っていればいるほど」、その運転手はどのように感じるのかが問われているとわかる。直前の文を見ると、豪華な車を運転している人は交差点で止まらず、前の車を抜かすことが多いということが倍数表現を用いて書かれている。このことを踏まえると、高価な車の所持者は、交通法規は守らないことが多いと述べられていると考えるのが自然だろう。そのような意味をもつ v から始まる単語は violate 「～を破る」である。

**(1) 正解は b**

空欄(1)は第 3 段落冒頭にあるので、まずはこの段落の内容を見てみよう。第 3 段落で述べられている内容は以下のとおりである。ケルトナーが行った実験では、力のある人は思いやりがあるように振舞わず、お金がかかったゲームではイカサマを行い、子ども用と書かれた瓶に入ったお菓子を食べ、小児がんに関する映像をみても同情を示さなかったということだ。これは第 1 段落、第 2 段落で述べられているような、裕福な人は交通法規を守らないという内容と論調は一致しているものの、空欄の前は路上で行った調査から得られた見解について、あとでは実際に被験者を集めて行った実験の結果について述べているという小さな転換がみられる。よって空欄(1)にはその 2 つをつなぐような役割を果たす文が入るとみられ、空欄(1)にふさわしいのは b だといえる。

**(2) 正解は a**

空欄(2)は第 4 段落冒頭にあるので、(1)と同様にまずは内容を見ていこう。第 4 段落で述べられているのは、Keltner が得た実験結果をもとに論文を出したところ、ヨーロッパの学者たちがその結果を確かめるための実験をドイツのデータをもとに行ったが、まったく正反対の結果、つまり裕福な人ほど周囲の人に親切にしているという結果になったのである。この内容をもとに空欄に入っているべき内容を考えると、正反対の結果が出たことにつながるような譲歩の意味をもつものが置かれるはずである。空欄直後の文で、ケルトナーが論文を提出したところ、結果を不思議に思う学者もいたと書かれていることも考えると、選択肢の中でこの空欄に入るのにふさわしいのは a である。

## (3) 正解は d

空欄(3)はこれまでの 2 つとは異なり文中にあるので、第 5 段落を空欄の前後に分けて見ていこう。空欄より前の部分ではケルトナーの実験とヨーロッパの学者たちの実験で生まれた正反対の結果をどのように整理すればよいか、という旨の疑問文の羅列になっている。後半部分では、公共の場で親切に振る舞うことが利益となるなら裕福な人は親切に振る舞うという旨が述べられていて、周りから見えない車の中のようなところでは自分の評判を落としかねないようなこともすると述べられている。空欄前では 2 つの相反する実験結果に疑問を投げかけており、空欄後では裕福な人は人格に表裏があるかもしれないということが述べられているともいえる。それは 5 段落 2 文目の「力のある人はそうでない人より親切なのか、それとも意地が悪いのか。」という問いに後者寄りの答えが導き出されたということである。よって空欄には疑問に対する答えとなる文が入ると考えられる。選択肢を見てみると d が適切だろう。

## (4) 正解は f

最終段落の冒頭に空欄(4)がある。これまでと同様、最終段落の内容を見てみよう。これまでの内容と少し変わって、サイエンス誌でブライアン・ノセックという人が、過去の 100 の心理学の研究結果と同じものが出るかどうか調べようと実験したが多くが実験結果の再現に失敗したということが書かれている。ここで選択肢 f を見ると調査データが間違っているのではなく、実験が間違っている可能性もあると書かれている。調査データがふさわしくないのではないかというケルトナー氏の意見を受け、さらに新たな論点をもち出す文としては f が適切である。

## (5) 正解は c

この文章の最後の 1 文である。最後の 1 文は文章全体のまとめになっていることが多い。ならば富裕と利己性の関連性をまとめた文が入るだろう。選択肢を見てみるとふさわしいのは c である。未解決だという結論も文意に沿っている。

**表現**

right of way 「通行権」

slow down 「スピードを落とす」

spare A 「A（時間や金など）をさく，あたえる」

contemptuous 「人を馬鹿にした」

pedestrian 「歩行者」

speed 「急いで行く，疾走する」：文中に出てきたのは過去形 sped

entitle to A 「A に対する権利をあたえる」

dip A into B 「A（手やスプーンなど）を B に入れる」

for the use of A 「A（人）が使うために，A 向きに」

childhood cancer 「小児がん」

influential 「影響を及ぼす」

taken as a whole 「全体として」

privileged 「特権のある」

proportionally 「比例して」

nasty 「いやな，不快な」

conflict 「矛盾する」

yield 「もたらす」

reputation 「評判」

in doubt 「(物・事が) 不確かな」

(吉田涼佑，松永尚也)

## 2017 年度 東京大学 前期 英語

## 第 2 問

## A

出題範囲	自由英作文
難易度	★★★★☆
所要時間	10 分
傾向と対策	「キャンパスについて気づいたこと」という出題であったが、試験を受けている身としてはひきん卑近なようであり、しかしほとんどの受験生は初めてか、多くても数回しか来たことがないキャンパスについて問われるのは、厳しいものがあつただろう。結局は表現力を見ているだけなので、あまり深く考えずに当たり障りのない内容で構わないだろう。

## 解答例

(例 1) Yesterday, I came to the Komaba campus for the first time, and the first thing I noticed about this campus is how close to the train station it is. This is much more convenient than my high school where I have to walk for 25 minutes from the station. I hope I can enter this university, because I am sure that I will never be late to class in this campus. (71 words)

訳：昨日、私は駒場キャンパスに初めて来ましたが、このキャンパスについてまず気づいたことは、いかに駅から近いかということです。これは駅から 25 分歩かないといけない私の高校よりもずっと便利です。ここなら私は絶対に講義に遅刻しないと思うので、この大学に入りたいと思います。

(例 2) I am currently taking the entrance exam at the Hongo campus. The most iconic building in this campus is the Akamon, or the red gate, which is an entrance gate facing the main street. I saw the famous gate before taking the exam, but frankly, it was smaller than I expected it to be, and was disappointed by it. I think that the main entrance gate is much more attractive than the Akamon. (80 words)

訳：私は現在、本郷キャンパスで入学試験を受けています。このキャンパス内で最も象徴的な建物は、大通りに面した門である赤門です。私は試験を受ける前にその有名な門を見ましたが、正直なところ、思っていたよりも小さくてがっかりしてしまいました。赤門よりも正門のほうがよっぽど見た目がよいと思います。

**解説**

問題文はいたってシンプルだ。問題文から直接読み取れる要求は以下の 2 点である。

- ① 試験を受けているキャンパスに関して気づいたことを 1つ挙げる
- ② それについて 60～80 語で説明する

この 2 点からわかることは、まず気づいたことを 1 つだけ挙げるということだ。2 つも 3 つも列挙して字数を稼ぐのは NG。また、「説明」とあるから、ただ主観的な文を並べるだけの解答は避けよう。

キャンパスに関して気づいた特徴について

- (1) その特徴はどのようなものか
- (2) いつ自分はそれに気づいたのか
- (3) なぜその特徴に注目したのか
- (4) その特徴を自分はどう思うか、それはなぜか
- (5) その特徴に関する提言・提案

など、5W1H を頭に入れて上記のうちのいくつかを説明に含むことができれば、バランスが取れていて長さもちょうど良い解答が書けるだろう。

(例 1) では駒場キャンパスと駒場東大前駅の近さに注目した解答としたが、これは駒場キャンパスの特徴として最も書きやすいことではないだろうか。ちなみに、キャンパスが駅から近くても筆者は遅刻する。

(例 2) では本郷キャンパスとそこにある赤門について言及した解答とした。本郷キャンパスといえば赤門であるため、このことについて書いた人もそれなりに多いのではないのだろうか。

補足であるが、自分がどのキャンパスにいるかということもなるべく明記しておいたほうがよいだろう。もちろん採点者も理系と文系が本郷と駒場に分かれているということはわかっているが、いきなり各キャンパスの特徴について書き始めてもそれは人に読んでもらう文章として不親切ではないだろうか。語数稼ぎという面からも、心証をよくするという面からも、まず第 1 文でキャンパス名を明記することを推奨する。

(山藤孝介, 松永悠希)

## B

出題範囲	自由英作文
難易度	★★★☆☆
所要時間	10分
傾向と対策	祖父を納得させるために手紙を書くという目的だったため、内容的に説得力をもたせるような書き方を心がけたい。問題文の手紙の内容を読み違えてしまっていると解答の方向性がぶれてしまうので気をつけてほしい。

## 本文訳

ジュンへ

君は私を覚えてはいないだろう。私は君の祖父で、君がたった3歳の時に国を去った。だがね、私の命はあとたった数週間しか残っていないけれども、人生で成功を収めた。もし君がうまく使えと私を納得させたら私の莫大な全財産を相続させよう。私のお金をどうやって、またなぜ使うのか私に教えてほしい。返信楽しみにしているよ。

君の祖父

マーリーより

## 解答例

(例1) Hi, grandpa. Although I do not remember you, I have heard a lot about you from my parents. One of those stories I heard is that you lost your wife at an early age, and that the cause of her death was cancer. If I were to inherit your wealth, I want to dedicate it to the development of a cure for cancer. I think this is the most meaningful thing that I can do with your money. (78 words)

訳：おじいちゃん、こんにちは。あなたのことを覚えてはいませんが、両親から多くの話を聞いています。その話のうちの1つで、あなたが奥さんを若いときに亡くして、彼女の死因がガンだったということを知りました。私があなただの富を相続することができるのなら、それをガン治療薬の開発にささげたいと思います。これがあなたのお金でできる最も意義あることだと思います。

(例2) I am very surprised that you contacted me and am very thankful for your offer. I have heard about your success as a businessman in Thailand, which inspired me to also become a successful businessman just like you. I would like to inherit your fortune to start my own company here in Australia and provide high quality education to rural areas over the internet. Please help me improve the quality of education in this country. (75 words)

訳：あなたが私に連絡してくれたことにとても驚いていて、あなたの提案にとっても感謝しています。タイでのあなたの事業家としての成功は耳にしていたので、私もあなたのような成功した事業家になりたいと思うようになりました。ここオーストラリアで自分の会社を立ち上げてインターネットを通して田舎の地域に質のよい教育を届けるために、あなたの財産を相続したいと思っています。この国の教育の質を向上させるのに手を貸してください。

### 解説

手紙を読んでその返信を書くという問題だった。与えられた手紙の内容の読解自体はそこまで難しくなかっただろう。ここから読み取れる解答に入れるべき要素としては

(ア) 莫大なお金を受け取ったらどのように使うか

(イ) そのようにお金を使うのはなぜか

の 2 つである。この 2 つさえ入っていれば基本的にはどのような内容でもよいが、自分のお金を上手に使えるなら相続させると祖父が言っている以上、あまりに享樂的な使い道（大豪邸を建てて豪遊するなど）はふさわしくない。祖父を納得させるつもりでその使い道を選んだ理由もはっきり述べておくとよいだろう。

### 表現

inherit A 「A を相続する」

vast 「莫大な」

sculpture 「彫刻」

innovative 「革新的な」

(吉田涼佑, 中島匠)

## 2017 年度 東京大学 前期 英語

## 第 3 問

## A

出題範囲	リスニング
難易度	★★★★☆
所要時間	10分
傾向と対策	アルファ碁というタイムリーな話題であったため、ニュースなどで知っていて内容は理解しやすい受験生も多かったと思われるが、(8)のプロとアマチュアの区別など含め、設問は難易度が高かった。そして、(10)ではタイトルをつけるという、本文全体の内容を踏まえる問題が出題された。下読み段階で先に(10)の内容を把握し、それを意識しながら聴くことが大切であった。

## スクリプト訳

人間として、我々は頭脳に我々を世界のほかのものよりも優れているものたらしめる唯一無二のものがあると思いたがる。したがって 1997 年に「ディープ・ブルー」とよばれるスーパーコンピューターがチェスの世界チャンピオンであったガルリ・カスパロフを破ったときはとても衝撃的だった。ただの機械が純粋な知的課題で勝利し、史上最強のチェス選手の 1 人を打ち負かしたのだ。

これはどのようにして起こったのか。人々はさまざまな言い訳を思いついた。おそらくカスパロフは疲れていたのだ、あるいはひよっとすると彼はその機械に怯えていたのだ、と。ディープ・ブルーを監督する科学者たちのチームが何らかの不正な補助をしていたのだ、という考えさえあった。

しかし、純粋にディープ・ブルーのコンピューターとしての能力である、というのが本当の説明である。ディープ・ブルーで使用される強力な処理装置は何百万通りの考えられる動きを分析できた。人間ではこんなに多くの選択肢を考慮することはどうしてもできない。だから、カスパロフが負けたとき、多くの人々が「ディープ・ブルーの勝利は機械の力あるいは強さを別のかたちで示しただけにすぎない。知力や創造力を本当に示したことにはならない」と言った。

しかしチェスが知力を試すものでないとしたら、何がより適切なものなのか。「囲碁」の対局がより適切だろう、と主張した人もいる。囲碁はチェスよりも大きな盤で行われ、考えられる手もはるかに多い。人間の囲碁棋士は計算ではなく直感で手を選ぶよう強いられる、とよくいう。コンピューターが人間の囲碁王者を打ち負かすほどの創造的知力をもつことは決してないだろう、と思われていた。

そうはいつでも、2016 年 3 月、アルファ碁とよばれるコンピュータープログラムが世界最高の棋士の 1 人である韓国のイ・セドルプロを破ってのけた。5 番勝負でそのコンピューターが 4 勝 1 敗だったのだ。

この勝利は 2 つの面で特に印象的だった。1 つ目は機械がどのくらい進歩したかということだった。イ・セド

ルとの試合の 6 カ月前、アルファ碁は彼よりも随分弱い相手であるヨーロッパの囲碁のプロ棋士と対戦した。その試合に勝ったものの、そのコンピューターは依然としていくつかの弱点を見せた。しかしながらその後の 6 カ月間でそのコンピューターは自分自身と何百万回も対戦し、徐々に改善の仕方を学んでいった。3 月にイ棋士と対戦する頃までには、はるかに強くなっていた。イ棋士は、彼が個人的に敗北したにすぎないのであって、「人間全体」が負けたのではない、と述べたけれども、その機械が彼にとってとても強かったことを認めた。

2 つ目の印象的な面はその機械の戦い方である。計算能力で優勢であるようには思えなかった。実際、いくつか間違いを犯していた。しかし戦略の創造的な利用やいくつかの手での独創性という点で優勢であったようだ。これは単に計算能力の勝利と説明することはできないだろう。

チェスでカスパロフを破ったプログラムはただ純粋に計算で破ったにすぎない。しかしアルファ碁の成功はコンピューターが知力や創造力も示しうるということを証明するように思われる。ひょっとするとこういうことからある解説者がアルファ碁のことを「過去 2000 年で最高の棋士」とだけではなく「芸術作品」とも説明したのかもしれない。

### 解説

#### (6) 正解は c

##### 問題文訳

話者によると、なぜディープ・ブルーはカスパロフを破ることができたのか。

- a) カスパロフが試合を真面目に捉えていなかったから。
- b) ディープ・ブルーは何人かの人間の専門家たちから助けられていたから。
- c) ディープ・ブルーの処理能力がカスパロフにとって高過ぎたから。
- d) コンピューターと対戦する重圧がカスパロフにとって大き過ぎたから。

第 1 段落でディープ・ブルーがカスパロフを破ったということを説明している。続く第 2 段落の第 1 文で How had that happened? と問題提起をしたあと、3 文にわたって人々の考えが述べられる。この部分は「話者によると」に反するので解答箇所ではない。第 3 段落で But the true explanation ~ とあることから注意して聴くと computing power 「コンピューターの処理能力」という抽象的内容に続いて、人間が考えられる手よりはるかに多くの手を分析できるという具体的内容が 2 文にわたって述べられている。この 2 文の内容を踏まえると、正解は c) である。computing power を processing power と言い換えていることに注意しよう。問題文中に「話者によると」と書かれていたため、音声中に述べられていたことの中でも、特に話者の考えに沿うものを選ぶという制限がカギとなる問題であった。

- a) 述べられていない。
- b) 第 2 段落最終文 (But the true explanation ~ の直前の文) で suggestion として「ディープ・ブルーを監督する科学者たちのチームが何らかの不正な補助をしていた」とあるが、これは「話者によると」に反する。

- d) stress に関しては述べられていないし、拡大解釈として第 2 段落の、人々の excuse 「言い訳」として perhaps he felt frightened of the machine と挙げられていることを stress だと考えたとしても、「話者によると」に反する。

## (7) 正解は d

## 問題文訳

囲碁はチェスよりもコンピューターの知力を試すのにはよりよいだろうと主張した人がいるが、それはなぜなら

- a) 囲碁は視覚的なパターンを認識することをよりあてにするから。
- b) 囲碁棋士はチェス選手よりも頭がよいといわれているから。
- c) 熟達するのにチェスよりも囲碁の方が時間がかかるから。
- d) 囲碁では分析すべきとても多くの考えられる手があるから。

問題文の内容は第 4 段落第 2 文 Some people argued that ~ be more appropriate に述べられる。よって以降の文で理由説明するのだと判断し、注意深く聴くと、次の文で Go is played ~ there are many possibilities 「囲碁はチェスよりも大きな盤で行われ、考えられる手もはるかに多い」とあり、このことから d) が正解である。選択肢では too many possibilities ~ to analyse となっているが惑わされないようにしよう。ほかの選択肢は述べられていない。

## (8) 正解は a

## 問題文訳

2016 年 3 月のイ・セドル戦の前に、アルファ碁は

- a) 自分自身と何度も練習試合を行った。
- b) ヨーロッパの強豪アマチュア棋士との対戦に勝利した。
- c) 囲碁のプロ棋士に 4 勝 1 敗で勝った。
- d) いろいろな人間を相手に何度も練習試合を行った。

第 5 段落の第 1 文で 2016 年 3 月のイ・セドル戦のことが述べられる。次の第 6 段落で Two aspects of this victory were particularly impressive とあることからイ・セドル戦での勝利に関して、以後、印象的な 2 つの面を聞き取ればよいことがわかる。その 1 つ目の面が本問に関連し、それは第 6 段落第 2 文で how much the machine had improved と述べられている。第 3 文で Six months before ~ とあり、問題文の Before と一致するため特に注意して聴くと、アルファ碁はヨーロッパの囲碁棋士と対戦し、弱点を見せていたが、その後の 6 カ月で played many millions of games against itself (第 5 文) とあるため正解は a) である。

- b) 第 6 段落第 3 文, 第 4 文で AlphaGo had played a professional European Go player, a much weaker opponent. Although the computer won that match, ~ とあるが, アマチュア棋士ではなくプロ棋士であるため不適。細かいため入試の緊張感の中で間違えた人も少なくはないかもしれない。ここで, 選択肢の strong と読み上げ文の weaker の対比を考えるとヨーロッパの棋士は強豪とはいえないため不適である, と判断しても悪くはないが, イ・セドルと比較して weaker であると述べられているに過ぎず, 世間一般的にはこのヨーロッパの棋士は強豪に分類されるかもしれない。このように, 相対的評価である強さの程度の対比だけを根拠に判断するのは(結果的に正解ではあるが)やや尚早で不確実である。本問では professional と amateur という絶対的評価をおもな根拠とし, strong と weaker は解答にあたって自分の中でより確信をもたせるための 2 次的な根拠としておきたい。
- c) これはイ・セドル戦の戦績であり, イ・セドル戦の前のことではないので不適。
- d) 人間を相手にしたのではなく, 自分自身を相手にして練習試合を行ったので不適。

## (9) 正解は c

## 問題文訳

アルファ碁がイ棋士に勝利したのは印象的だったが, それは

- a) 依然としていくつかの弱点を示していたから。
- b) ディープ・ブルーよりもはるかに強力だったから。
- c) 創造的で独創的な手を見つけることができたから。
- d) さらに多くの考えられる手を計算できたから。

前問(8)の内容は 1 つ目の印象的な面であり, 本問は 2 つ目の印象的な面が解答のおもな根拠となると予想できる。そしてそれは第 7 段落第 1 文で The second impressive aspect was the way in which the machine played と述べられており, 以後の文で, 計算能力に特に優れていたわけではないが戦略を創造的に使用し, 独創的な手を打ったという点で優れていた, とある。第 4 文の in its creative use of strategy, in the originality of some of its moves, the computer seemed superior の部分が当てはまるので正解は c) である。

- a) これは 1 つ目の印象的な面の内容である。第 6 段落第 4 文に it still showed cert しかし, 直後の However 以降を読むと, 自分自身と戦うことで gradually learning to improve してきたというアルファ碁の学習能力の高さが印象的であるのだから, 弱点を示したこと自体は「印象的」とはいえない。
- b) 第 7 段落最終文 This could not be ~ for mere calculating power と第 8 段落の内容より, ディープ・ブルーは計算能力の高さでカスパロフを倒したが, アルファ碁は知力と創造力をもったコンピューターであり, その点でディープ・ブルーよりも強力である, ということはできるし, 読み上げ文全体の流れとしてそういえるかもしれないが, これは印象的な面とは関係ない。
- d) 印象的な面はアルファ碁の学習能力の高さ, そしてその創造力と独創性であり, 計算能力の高さではない。

実際、第 7 段落第 2 文に It did not seem superior in calculating power とある。

(10) 正解は c

問題文訳

この 1 節に対し 最もふさわしくない 題名は

- a) ディープ・ブルーからアルファ碁へ
- b) 人間の知力は唯一無二なのか？
- c) コンピューターの処理能力の最近の増加
- d) コンピューターの知力の進化

題名をつける問題は東大では大問 1 や大問 5 の読解問題においてときどき出題される。リスニングで出されるのは新傾向といえるが、本文全体の論理関係を抑えるという解答に至るまでのプロセスは出題形式にかかわらず共通である。この文章は、その知性は唯一無二だ、とと思っている人間が高い計算能力をもったディープ・ブルーの登場(1997)に大きな衝撃を受けたという内容から始まり、知力や創造力を測るのにより適した囲碁を導入したあと、アルファ碁(2016)と、その印象的な面として学習能力の高さ、創造力と独創性を挙げた。そして最後に、ディープ・ブルーは計算能力の高さで人間を破ったにすぎないが、アルファ碁はその成功によってコンピューターが知力や想像力も示しうるということを証明した、と結論づけている。このことを踏まえて選択肢を見ていこう。

- a) 1997 年にチェス選手を破った計算能力の高いディープ・ブルーが示していないとされた知力や創造力をアルファ碁が 2016 年に示した (第 3 段落第 4 文)、という観点から「ふさわしくない」とはいえない。選択肢の From ~ to ~ も 1997 年から 2016 年という時系列に対応している。
- b) 第 1 段落の第 1 文で人間は自分の知力を唯一無二と思うのを好む、とあり、それ以降ディープ・ブルーやアルファ碁の例を挙げて「コンピューターが人間の知力に追いつき追い越す」ことを述べてきたことを考えると、題名を人間の知力は唯一無二なのか？ として、それは違うかもしれないということをコンピューターを具体例にして述べる流れをつくりうるため、「ふさわしくない」とはいえない。
- c) アルファ碁は計算能力で優れていたようには思えない、と第 7 段落で述べているのに加え (問題(9)の解説も参照)、「コンピューターが知力や創造力も示しうる」という流れに反する。コンピューターの処理能力の増加を述べた文章ではなく、コンピューターが知力や創造力も示しうる存在であるということを最も伝えたいため、選択肢の中では最もふさわしくない。
- d) アルファ碁がコンピューターが計算能力だけではなく創造力と独創性を示しうるということを示した、と最終段落にあることを踏まえると、前者のみしか示せなかったディープ・ブルーに比べるとその知力が進化したといえるので「ふさわしくない」とはいえない。

**表現**

oversee A 「A を監督する」

sheer 「まったくの、真の」

compel A to V 「A に無理やり V させる」

acknowledge that A 「A ということを認める」

(日笠航希, 吉田春輝)

## B

出題範囲	リスニング
難易度	★★☆☆☆
所要時間	10分
傾向と対策	<p>AI などの研究が進み、コンピューターがいまよりも人間の仕事を奪うといわれている今日において、かなりタイムリーな話題であった。コンピューターといっても、この問題ではさほど専門的な内容に踏み込んだわけでもなく、語彙は全体的に平易であった。登場人物についても、紅一点であるミーガンの発言を問う問題が 3 つと多く、また第 3 の登場人物であるダニエルの役割は後半に集中しているなど、聞き分けもしやすかった。3 人の主張は放送をとおして一貫していたため、混乱も生じづらかった。</p> <p>最初の設問に関してのみ、正解の選択肢と放送の内容が直接的につながっているとはいわずらい印象があったが、それ以外の設問は素直であったといえる。難関大学入試における、会話形式のリスニング問題のオーソドックスなスタイルだといって差し支えないだろう。</p>

## スクリプト訳

アレックス：今日のコンピュータークラブはどうだった、ミーガン？

ミーガン：すごかったよ、アレックス！ ヨーロッパのソフトウェア会社の役員が私たちを招待してくれたの。彼女の話は「どのようにコンピューターが決定を下すか」って名前だったな。

アレックス：コンピューターが決断を下すなんて前は考えてなかったな。コンピューターは人間が与えた規則に従っているだけだと思っていたよ。なにせ、あれらは野心や欲求があるわけじゃないんだから、俺たちみたいにさ。

ミーガン：でもね、コンピューターが人間より悪い判断をするってわけじゃないんだ。実際には逆かも。講演者がいうには、人間は疲れとか、病気とか、あるいはテーマのうわべの印象に影響されるんだって。考えなくちゃならない、起こりうる結果がたくさんあるときなんか、人間は下手を打つ。住むマンションを見つけないとか、2カ所を結ぶ1番早い道順の地図をつくりたいみたいなきだね。人間は早々に、選択肢に参ってしまうの。

アレックス：だから、コンピューターは俺たちより決断をするのが得意なのかい？

ダニエル：危ないくらいね……俺の考えなら。

ミーガン：あら、ダニエル！ チェスみたいな戦略ゲームならどうかな？ コンピューターは木の枝みたいに可能性を書き出すのよ。それぞれの枝に評価をつけて、それで1番よい評価の選択をとるの。コンピューターはすごく速くこれができるんだ。

アレックス：それでもさ、コンピューターが大事な決断を全部やってしまう世界には住みたくないよ。だってコンピューターは決断の結果に気を払わないんだから。チェスのコンピューターが勝つのは、人間がそうプログラムしているからってだけさ。

ミーガン：そうだね。でも今日の講演者の話だと、ときにコンピューターによってされた決断のほうが、もっと気を払っているように思えることがあるって。

アレックス：それはどうやって？

ミーガン：例えば医療だとさ、あまりにも多くの情報を扱わなくちゃならないことになるから、医者が治療をそれぞれの人に最適にできないことも多いわ。例えば、医者は標準的な量の薬を出すだけになる。でも、コンピューターはすべての試行をすぐに分析して、それぞれの人にちょうど必要な治療を施すことができるんだ。ある意味、人間の医者より「気を払ってる」んじゃない？

アレックス：君はどう思う、ダニエル？ コンピューターに僕たちのための選択をすべてさせるべきなのかな？

ダニエル：機械に情報をあたえ過ぎると、制御が利かなくなるんじゃないかって俺は心配だね。イギリスの企業が保持していた個人の健康に関するデータがインターネットに流出したって、最近なにかで読んだよ。しかもさ、君が言うには、コンピューターは人間よりよい選択ができる。もしコンピューターが世界を奪うと決めたら？ コンピューターが人間をペットにし始めるかもしれないぞ！

ミーガン：いや、そんな大げさにならないでよ。1 番進んだコンピューターだって、ソフトウェアにある指示に従っているだけなの。それに、コンピューターは電気が必要だし、その電気は私たちが供給しているのよ。

アレックス：多分、問題なのはコンピューターに支配力を与あたえることというより、コンピューターを動かす会社に支配力を与えてしまうことなのかもね。コンピューターが世界を奪おうとするとは思わないけど、会社ならやると思うね。

ダニエル：君たちは起きていることがわかってないよ！ すぐに、会社を動かすのはコンピューターになるんだ！

アレックス：じゃあ、コンピューターを発明しない、ということはできないの？ どうすればいいと思う？

ダニエル：思うに、コンピューターがお互いに対抗するようにしないとイケないと思う。分割して統治せよ、さ。コンピューターを取り締まるコンピューターが必要だ。

## 解説

### (11) 正解は d

#### 問題文訳

ミーガンによると、時折人間がコンピューターより決断を下すのが下手になってしまう理由の 1 つは何か？

- a) 人間は間違った情報にもとづいて決断を下してしまう。
- b) 人間は自分の主観的欲求に気を紛らわされてしまう。
- c) 人間は喜ばしくない決断に直面すると、あまりにも簡単に投げ出してしまう。
- d) 人間は膨大な選択肢の中で選択をすることが得意でない。

ミーガンの発言に注意を向けよう。設問文より唯一の女性であることがわかっており、聞き分けやすいだろう。

ミーガンの 2 回目の発言は、アレックスへの反論である。But that doesn't mean that they have worse judgment.から始まるとおり、ミーガンはコンピューターが決断を下すという状態を肯定的に捉えている。ここでミーガンが述べた人間の欠点は「疲れや病気に影響を受けること」「表面的な印象に左右されること」。そして、「たくさんの結果を考慮しなくてはならないとき、決断を下すのが下手になる」ことである。その例として、「住むアパートを決めるとき」や「2 点を結ぶ経路を書き出すとき」が与えられている。

「たくさんの結果を考慮しなくてはならないとき」とは、すなわち「たくさんの選択肢を考慮する」である。そう考えれば、d)を選ぶことができるだろう。

しかし、この段階ではまだ b)と d)で迷ってしまう人も多いのではないだろうか。その際は 5 回目のミーガンの発言 In medicine ~ を参考にすることができる。ここではコンピューターのほうがたくさんの試行をし、最適な治療を選ぶことができると述べられている。ここから、d)の方が適切な解答であると確信できる。

b)は「疲れや病気に影響を受ける」「表面的な印象に左右される」というミーガンの発言に通じるところがあるように見える。なぜ正解ではないのかというと、desire の厳密な意味は「(何かをしたいと思う) 欲求」であるからだ。全般的な「人の状態」とは意味が違うので、「疲れや病気」と結びつけることができないのだ。また、a)と c)について、ミーガンはふれていない。

## (12) 正解は c

### 問題文訳

ミーガンによると、チェスのプログラムはどのように決断を下すか？

- a) プログラムは対戦相手のプレイスタイルを評価する。
- b) プログラムは以前に行った試合の指し手を用いる。
- c) プログラムはそれぞれのあり得る指し手を系統立てて評価する。
- d) プログラムは人間の専門家によるインプットにもとづいた指し手を用いる。

これもミーガンの発言に注目する問題である。しかも What about strategy games such as chess?と、自らチェスの話題を振っているので注意すべき箇所はわかりやすい。ここでは、コンピューターが樹形図のように可能な選択肢を書き出し、1 つずつ評価していくと述べられている。これに最も近い選択肢は c)である。

## (13) 正解は d

## 問題文訳

なぜアレックスはコンピューターに重要な決断を下してほしくないのか？

- a) コンピュータープログラムはセキュリティ上のリスクをもたらさう。
- b) コンピューターには善悪の分別がない。
- c) コンピュータープログラムは時折故障したり、バグが起こる。
- d) コンピューターは自分が決めたことに対して、個人的な関心がない。

ミーガンのチェスに関する発言の直後が、この問題で注意すべき箇所である。アレックスはコンピューターに重要な決断を下してほしくない理由について、「自分の決断の結果を、コンピューターは気にしない」ということを述べている。コンピューターにとって、決断を下すのはプログラムの結果であり、結末はどうでもいいということだ。これに最も近いことを意味しているのは d) である。それ以外の選択肢は、放送でふれられていない。

## (14) 正解は b

## 問題文訳

ミーガンによれば、どのようにしてコンピューターは人間の医者よりも「注意を払って」いるようになりえるのか？

- a) コンピューターは患者の気持ちを解釈するようにプログラムできる。
- b) コンピューターはそれぞれの患者が必要とする薬の量を計上できる。
- c) コンピューターは患者により暖かく接するようにプログラムできる。
- d) コンピューターは患者が個人情報を共有するように促すことを、より容易にできる。

(13)の直後のミーガンの 2 回の発言が、本問のポイントである。医者は情報が多くなってしまったために、それぞれの患者に必要なだけの薬を処方することができないことが多いという。しかし、コンピューターの手にかかれば、これをすぐにこなしてしまうというのだ。その結果、患者がちょうど必要な治療を受けられれば、これは「気を払っている」ということにならないか？ というのがミーガンの発言の趣旨である。これに最も近い選択肢は b) である。それ以外の選択肢は放送でふれられていない。

## (15) 正解は b

## 問題文訳

ダニエルがコンピューターに関して懸念を抱いている理由の1つは何か。

- a) 彼はコンピューターが戦争を始めるかもしれないと考えている。
- b) 彼はコンピューターが人類を支配するかもしれないと考えている。
- c) 彼はコンピューターが警察力を奪い取るのではないかと考えている。
- d) 彼はコンピューターが、人が働く必要性を消し去るかもしれないと考えている。

ダニエルの見解は後半部に集中している。I'm worried ~ 以下の彼の発言に注意していこう。彼はコンピューターが情報を持ち過ぎ、コントロールできなくなる事態を恐れているが、その理由は「情報が流出してしまうこと」と「コンピューターが人間よりよい選択をすることで、人間がコンピューターに支配されてしまうこと」の2点である。これは I'm worried ~ の発言と、You both don't see what's happening! 以下の発言からわかる。以上より、最も彼の主張に近い選択肢は b) である。

a) や d) に近い話題は放送で述べられていない。また、c) の police に関しては、「コンピューターを『取り締まる』コンピューターが必要だ」という主張の形で登場しており、ダニエルは警察力を奪われると主張しているわけではない。

## 表現

executive 「取締役、幹部」

superficial 「表面的な」

outcome 「結果」

instruction 「指示」

divide and rule 「分割して統治せよ」: 古代ローマの占領地政策を表現した言い回し

police A 「A を取り締まる」

(中島匠, 大西功泰)

## C

出題範囲	リスニング
難易度	★★★★☆
所要時間	10分
傾向と対策	所々難しい単語があったが、一言一句すべてを理解しなくても設問には答えられるので、それらにとらわれず大まかな内容把握と解答根拠となる部分の特定を優先させよう。設問に関して、(16)は a)と c)で迷い、(17)の選択肢 d)の巧みな言い換え、(19)の設問内容、全体の内容を意識して聴かないと解けない(20)など、難しいものであった。読み上げ文の内容を正確に聞き取ったうえでの消去法や形容詞の語感の理解に習熟する必要がある、リスニング問題を継続的に行うことが重要である。

## スクリプト訳

私は、自分たちの新居の長い階段の最下部に立っていたことを覚えている。とても怖がっていたので上れなかった。そういうとき私の姉のウチェが黙って私の手を取り、一緒に上っていった。私は 4 歳で、彼女は 15 歳だった。これが私が彼女に愛情をもった最初の記憶である。

私の母は、私と姉の親密な関係はもっと早くに始まっていたと私に言う。私は落ち着きのない赤ん坊で、その夜泣きは彼女しかなだめられなかった。固形食を最初に与えられたときも、母がオクラのレバー・ソース和えを与えようとしたが、姉があたえたときだけ私は食べていた。

私が 10 代の頃、彼女は大学で医学を勉強する魅力的な姉だった。私は彼女を尊敬していた。彼女の美しい顔、すべすべした濃いブドウ色の肌、すきっ歯は母親譲りだった。

私はいつも彼女の独創的なスタイルに感銘を受けていた。彼女は捨てられたシャンデリアの 1 部から長いイヤリングをつくり、古いハンドバッグの肩ひもから靴につける蝶ネクタイ型の飾りをつくった。彼女は市場の仕立て屋に自分用としてつくってもらうために色とりどりのリボンのついたドレスやぜいたくな形をしたズボンといった服をデザインした。彼女の服の多くは私にお下がりとなって手渡された。13 歳のとき、クラスメートは女の子用の服を依然として着ていたが私は上品でぴったり合った服を着ていた。

彼女は家族の中でもたくましい人だった。型にはまらない女の子だった。彼女が小学生の頃、隣人の息子が彼女を悪魔と呼んだときには、彼女は生け垣をよじ登り、彼を叩きのめし、そしてまたよじ登って家に戻り、卓球の試合を続けた。その夕方、隣人が私の両親に苦情を言いに来た。その男の子に謝るように尋ねられたとき、私の姉は「でも彼が私を悪魔と呼んだのよ」と言った。

かつて彼女は母親の衣裳部屋にこっそり入り、母親のハイヒールサンダルを履いて学校に行ったことがある。すぐに先生によって没収された。彼女は 10 年以上あとになってそのことを母親に言い、そのサンダルのことを事細かに説明して、笑っていた。

彼女はすぐ笑い、よく笑う。電子メールで面白い冗談を送る。

両親の 6 人の子どものうち、彼女は 2 番目で私は 5 番目である。

私は作家になった。彼女は医者として成功している。私たちは趣味嗜好が違う。彼女は私の天然の巻毛の髪を触り、「この毛むくじゃらの髪は何？」という。私は彼女の長い直毛を指差して「プラスチックのようね！」と冗談を言う。

それでも、私たちはお互いの服や髪型に関する意見について尋ねる。私の本に関するイベントや彼女の医学学会について 2 人で長話をする。よく話をしたりメールのやり取りをする。私は彼女と、彼女の素晴らしい夫で私にとっては兄のようなウドディ、そして彼女の 18 歳の双子の娘たちと週末を過ごすのが好きだ。

彼女にはとても信頼できる何かがある。彼女の妹であることはしっかりとしたクッションがいつも自分の背中にあると感じることである。去年私たちの父が入院したとき私の絶望を静めたのは彼女の落ち着いた声だった。

かつて、私が本を完成させようと苦闘していたときには、彼女は「よく頑張っているわね」と飾り気なくわかりやすく私に言ったが、その言葉によってすべてがよりよく思えるようになった。

彼女は 3 月初めで 50 歳になった。「『50 回目の誕生日おめでとう』なんて書いてるカードを私に渡さないでね」と私の兄弟姉妹や私に言った。「『誕生日おめでとう』だけでいいのよ」。

### 解説

(16) 正解は a

#### 問題文訳

話者が姉のウチェと親密なのは

- a) ウチェが普段から彼女が泣くのをなだめていたときから。
- b) ウチェが彼女が階段で泣くのを止めたときから。
- c) ウチェが彼女に 4 歳で愛着をもったときから。
- d) ウチェが彼女たちの新居の周りを彼女の手を引いて回ったときから。

問題文の close to her sister に対応する部分を考える。第 1 段落の第 5 文で It is my earliest memory of my attachment to her とあり、この it が指す内容は姉が長い階段に怯えていた話者の手を引いて一緒に上ってくれたことである。しかしながら第 2 段落第 1 文で the close relationship ~ started much earlier と母親が教えてくれたとあり、その具体的内容は話者の夜泣きをなだめたり、固形食を食べさせたりできたのは姉だけであるということがわかる。この 2 つの内容を踏まえると正解は a) である。

- b) 階段についての内容は第 1 段落にあるが、話者は怯えていたとは述べられているが泣いたとは述べられていないので不適。
- c) 上述のとおり、話者の記憶の中では 4 歳のときに初めて愛着をもったとあるが、親密な関係はより早くに始まったという母親の発言を話者が取り上げているため不適。
- d) 読み上げ文中では述べられていない。

c) と迷う問題であったが、問題文に According to the speaker といった記述もないため、「話者の主観的記憶

にもとづいた親密な関係の始まった瞬間」ではないと判断してほしい。

(17) 正解は d

問題文訳

ウチェはたくましいとみなされていたが、それは

- a) 彼女が侮辱を無視していたから。
- b) 彼女が男の子用の服を着ていたから。
- c) 彼女が乱暴な言葉遣いだったから。
- d) 彼女が社会の期待を無視したから。

問題文の tough は第 5 段落第 1 文 She was tough one in the family—the unconventional girl と対応する。よって以降の内容に注意すると、隣人の息子に悪魔と呼ばれたことに対し、ウチェは隣人宅に乗り込んでその子を叩きのめしたが、隣人に謝罪を要求されても「彼が悪魔と言ったから（やったのだ）」と言ったとある。このように、「暴力をふるったほうが謝るべきという社会の通例（「社会が一般的に想定する女の子の言動」と考えてもよい）に反している」ウチェの姿に加え、unconventional girl「慣習にとられない女の子」を考慮すると d) が正解である。この d) の選択肢は本文中に直接述べられておらず、第 5 段落のウチェの言動を大幅に抽象化しているため、正解と判断するのにためらうかもしれない。この問題に関しては消去法でいくのが確実だ。

- a) 上述のとおり、侮辱に対し実際に行動を起こしているため、無視していない。
- b) 述べられていない。ちなみに、第 4 段落の最終文で my classmates were still in little-girl clothes とあるが、これは女の子用の服であり、着ているのも話者が 13 歳のときのクラスメートである。これにつられて選ばないようにしたい。
- c) 述べられていない。

(18) 正解は d

問題文訳

ウチェはかつて

- a) 彼女が見つけた素材から服をつくった。
- b) 隣人の息子を叩いたことを謝った。
- c) 話者のためにオクラを茶褐色のソースで和えたものをつくった。
- d) 無許可で母親のサンダルを使った。

問題文の once に対応する部分を考えると、第 6 段落第 1 文 She once sneaked into ~ あるいは第 12 段落第 1 文 “You work so hard,” she told me once ~ である。第 6 段落ではウチェが母親の衣裳部屋に侵入して母親のサンダルを履いて学校にいったところ、先生に没収された、という話を 10 年以上あとになって話したとある。これに合致するのが d) である。ちなみに第 12 段落の内容は、本の完成に追われている筆者に姉がかけた「よく頑張っているわね」という言葉によってすべてがよりよく思えるようになった、ということである。残りの選択肢も内容的には once つまり昔のことであるが、事実と異なる。

- a) 第 4 段落第 2 文 She made long earrings from parts of an abandoned chandelier and made bows for her shoes from old handbag straps や第 3 文 She designed her own clothes—dresses with colorful ribbons, lavishly shaped trousers—for the tailor in the market to make for her とあるが、彼女が見つけた素材でつくったのはイヤリングや靴の装飾であり、服ではない。また、服も自分がデザインしたものを仕立て屋につくってもらっているため自分でつくったわけではない。
- b) (17) でみたとおり、ウチェが謝ったという記述はなく、むしろ「彼が悪魔と言ったから」と自分の非を認めていない。
- c) 問題文の okra with liver sauce については第 2 段落で述べられているが、母親が話者に食べさせようとしたとは書いているものの、姉がつくったという記述はなく、姉は話者に食べさせただけである。

(19) 正解は a

問題文訳

次のうち、姉妹で異なると説明されて いない ことはどれか。

- a) 我慢強さ  
b) 髪型  
c) たくましさ  
d) 職業

第 9 段落の第 2 文で We have different tastes とあり、その直後に話者の natural curly hair と姉の straight hair についてお互いが冗談を言い合っていることが述べられている。そして第 10 段落第 1 文で we ask ~ hairstyles とある。また、第 9 段落第 1 文や第 10 段落第 2 文から、話者が作家（本問のリード文で既に述べられている）であり姉が医者である（第 3 段落で studying medicine at university と述べられていることもヒントになる）ことがわかる。ここまですべて b) と d) を消去できる。c) のたくましさについてだが、(17) でみたように姉はたくましいことがわかる。さらに、第 11 段落の内容を見ると、父親が入院したときに話者の絶望を静めたのは姉の落ち着いた声であり、自分をいつも支えてくれる頼れる姉であることが読み取れる。話者の toughness については、幼少期の段階のエピソードや、第 11 段落で父親の入院の際に絶望していたことなどから、それほどたくましく気が強い性格ではないと推察でき、c) も姉妹で異なるといえる。a) の patience については話者につい

ても姉についても述べられていないのでこれが正解である。a)と c)で迷う問題であった。

(20) 正解は b

問題文訳

次の文章のうち、話者がその姉を説明するものとして最も手短かに述べているのはどれか。

- a) ウチェは好奇心旺盛で大胆である。
- b) ウチェは強く思いやりがある。
- c) ウチェは金持ちで寛容である。
- d) ウチェはおしゃべりで知的である。

この問題の選択肢はすべて Uche is A and B という形である。本問の文章全体から読み取れる姉の人柄を最も確に、そして包括的に述べている選択肢を選ぶ。第 1 段落で示される 11 歳年上の姉の心強さ、第 5 段落で示される姉のたくましく、慣習にとらわれない姿、第 11 段落で示される姉の安心感、さらに、第 12 段落の“You work so hard”によって it made everything seem better になったこと、これらを最も反映している b)が正解。

- a) 第 4 段落で made long earrings, made bows, designed her own clothes とあるもののこれは curious 「好奇心旺盛」とはいいにくい。また、ほかに好奇心旺盛な様子がうかがえる描写もない。さらに、母親のサンダルを無断で使用したことを 10 年以上あとになって話したり冗談を言ったりすると述べられているがそれを bold というのは言い過ぎであり、「ベスト」とはいえない。
- c) 姉が rich であると明確にわかる描写がない。姉の職業は医者であり、社会通念では rich かもしれないが、本文中に実際に rich であるという描写はない。常識から判断できても安直に正解としてはいけない。また、rich には「面白い、楽しい」という意味もあるが、そうであったとしても姉が generous 「寛容な、寛大な」人物だと言える描写がない。つまり、広い心で人の言動を受け入れ、他人の罪や欠点などを責めることをしないというような人物描写がないのである。
- d) talkative に関しては姉妹でメールのやり取りをしたり、お互いの職業について長話をしたり、冗談を言ったりという描写はあり、間違いとはいえない。また、少し無理はあるが医者であることから intelligent であるともいえなくはない。しかしながら、この 2 つで姉の人柄を表すには無理がある。talkative and intelligent は本文を一貫しているテーマではない。これも「ベスト」とはいえない。

**表現**

stairway 「階段」

attachment to A 「A への愛着」

restless 「落ち着かない, 不安な」

soothe 「なだめる, 落ち着かせる」

okra 「オクラ」

liver 「茶褐色の」

glamorous 「魅惑的な」

lavishly 「気前よく, 惜しげなく」

tailor 「仕立屋」

hedge 「生け垣, 垣根」

sneak into A 「A にこっそり入る」

wardrobe 「洋服だんす, 衣裳部屋」

seize 「没収する」

(日笠航希, 吉田春輝)

## 2017 年度 東京大学 前期 英語

## 第 4 問

## A

出題範囲	文法問題
難易度	★★★★☆
所要時間	10分
傾向と対策	<p>例年、第4問のAでは文法知識を問う問題が出題される。文法知識自体はさほど高度ではないものの、文章の内容に注意しすぎると、つい誤りの箇所を見逃してしまう。その意味で、速さと精度の両方が問われているといえる。日頃の学習からただ闇雲に速く読もうとするのではなく、しっかりと精読ができたうえで速さを追い求める姿勢が大事である。また、ときおり単なる文法的な誤りでなく、文章の趣旨における誤りを選ばなくてはならないこともある。設問文が「文法的な誤りを含んでいる」の場合は文法だけに注意すればよいが、「誤りを含んでいる」とだけ書かれている場合は、文法のみならず、内容の矛盾がないか、という点についても注意しなくてはならない。</p>

## 本文訳

(21) 「ドキュメンタリー」という用語は [a]それが実際に制作された初期の頃にたどどしく現れた 語だ。19世紀後期に起業家たちが現実の出来事の動画を初めて記録し始めたとき、彼らがつくっているものを「ドキュメンタリー (=文書)」[b]と呼んだ人がいた のである。しかしながら、用語は数十年間定着しなかった。ほかの人々は彼らの映画を「エデュケーショナル」「アクチュアリティ」「インタレストフィルム」と呼んだ。[c]あるいは、映画の題材に言及したのもあった。例えば「紀行映画」である。スコットランド人のジョン・グリアソンは、この新しい形を英国政府の役に立つよう利用することにし、さらに、偉大なアメリカの映画監督ロバート・フラハティの [d]作品にあてることで、「ドキュメンタリー」という用語をつくり出した。彼はドキュメンタリーを「事実性の芸術的再提示」と定義し、その定義はおそらく [e]とても柔軟であるがゆえに、 いままで続いているのである。

(22) ドキュメンタリー映画は19世紀末の間に [a]最初の数本が上映されて 始まった。いまではいろいろな形式をとることができる。それは『極北のナヌーク』(1922年)のような異国の土地や生活様式への旅かもしれない。ヨリス・イヴェンスの『雨』(1929年)のような、視覚的な詩かもしれない一雨の日の物語で、[b]1片のクラシック音楽がつけられており、 その中で嵐が音楽の構成を想起させるのである。映画は、[c]巧妙なプロパガンダかもしれない。フィクション映画は有害で落ち目であり、[d]ドキュメンタリー映画こそが未来であると 宣言したソビエトの映画監督ジガ・ヴェルトフは、[e]政治体制と映画の様式の両方への プロパガンダとして『カメラを持った男』(1929年)を制作した。

(23) ドキュメンタリーとは何だろうか。簡潔な答えは、現実に関する映画だということになる。これはまさしく問題である。ドキュメンタリーは現実に関する映画であって、現実ではない。それらは [a] 現実に似通ってすらいらない。それらは現実の肖像画であり、[b] 現実を原材料として、[c] どの物語を誰に 何の目的で語るのかといった膨大な量の決断を下す、芸術家や技術者によって構築されるのである。そうすると、あなたはこういうかもしれない。現実を精一杯表現しており、[d] 現実を改ざんはしていない 映画である、と。しかし、情報を改ざんしないで [e] 映画をつくることはできない のである。題材の選別、編集、音のミキシング、すべて改ざんである。放送ジャーナリストのエドワード・R・マロウはかつて、こう言った。「誰であれ、それぞれの映画が「公正な」イメージを表現するはずだと信じている人は、公正さというものもイメージというものも、どちらもわかっていない」。

(24) どの程度改ざんするのかを決定するという問題は、[a] ドキュメンタリーという形式が現れたところから議論されてきた。『北極のナヌーク』は最初期の偉大な作品の中に数えられるが、その主題であるイヌイットは、[b] フィクション作品の役者と同じように ロバート・フラハティの指示の下で役を引き受けた。フラハティは、セイウチを槍で狩るなど、[c] 彼らがもはや行っていなかったことをする ように頼んだ。また彼はイヌイットが本当は理解していたことに関しても、[d] 知らないかのように表現した。同時にフラハティは、彼のプロジェクトに喜んで参加し、あらすじに関してたくさんのアイデアをくれた、[e] そんなイヌイットと暮らした数年間の経験 から物語をつくったのである。

(25) ドキュメンタリーの重要性は社会現象としての [a] 大衆という概念と結びついている。哲学者のジョン・デューイは、大衆 —民主主義社会の健康に欠かせない— は [b] ただの個人の集まりではない と説得力をもって主張している。大衆は全体の善のために一緒になって行動できる人々の集まりであり、[c] そのため 商業や政府の深く根差した権力に 立ち向かえる。[d] 必要とあらば危機に瀕した際に団結する 非公式の機構だ。彼らと呼ばれこす機会や事案の数だけ、大衆はある。私たちは皆、いかなる特定の対象の構成員たりえる。私たちが直面する共有された課題に関して、[e] 情報を伝え合う手段があれば。そのため、コミュニケーションは大衆の核心なのだ。

### 解説

(21) 正解は d

下線部 d の前後を見ると、ジョン・グリアソンが「ドキュメンタリー」という用語を開発した経緯が述べられているとわかる。どうやら、ロバート・フラハティの作品に apply したようだ。apply A to B で「A を B に当てはめる」という意味になる。これを念頭に置いていけば、invented the term “documentary” by applying to a work ~ という部分を見たとき、「何を当てはめたの？」となるだろう。ここでは「ドキュメンタリー」にちがいないので、it が applying と to の間に足りていない、ということになる。つまり、グリアソンがフラハティの作品に「それ」を当てはめたということは、グリアソンが「ドキュメンタリー」という名前をあたえたということである。

## (22) 正解は b

下線部 b を含む文の動詞は It can be の be である。下線部の前に関係代名詞などの、ほかの述語の存在を可能にする表現はないので is set to a ~ の is は先述の be と重複してしまい文法的に不適切だとわかる。試しにこれを抜いた場合、set to a piece of classical music となり、映画の内容を付加的に説明する分詞構文になるため文意がとおる。

## (23) 正解は d

下線部 d を含む 1 文を見てみよう。You might then say: a movie that does its best to represent real life and that it doesn't manipulate it.

: (コロン) を挟んで以降は a movie という名詞と、それを that 節で説明する、名詞のカタマリになっていることがわかる。「ドキュメンタリーは」という意味の部分はまるごと省略されているのであろう。

and 以下に注目。that it doesn't manipulate it. では、関係代名詞として省略すべき名詞、あるいは目的語が、どれも欠けていない。完全な文になってしまっている。しかし、that は and でつながれているため、前の that が関係代名詞である以上、うしろの that も関係代名詞でなくてはならない。1 つ目の it を取り除くことで、関係代名詞の正しい表現になる。

## (24) 正解は e

his own experience of years into living with the Inuit というのが下線部 e。この中で、years into living with the Inuit の部分に誤りがある。into を削除することで、動名詞である living が直前の名詞 years を修飾して下線部の意味が「イヌイットと暮らした数年間の彼自身の経験」という意味になり、正しい文となる。

## (25) 正解は e

communicate という動詞には、その意思疎通の対象者を示すのに with が必要である。よって、communicate with each other が適切である。あるいは、we という主語が来ている時点で communicate は「意思疎通を取り合う」というニュアンスが入るので、each other をまるごとなくして自動詞としてもよい。

表現

awkwardly 「ぎこちなく」  
entrepreneur 「起業家, 興行主」  
stabilize 「安定する」  
durable 「永続性のある, 長持ちする」  
project A 「A (事業など) を計画する」: 通例受身形で用いられる  
exotic 「異国風の」  
echo A 「A に似ている, A を思い起こさせる」  
artful 「巧妙な」  
propaganda 「プロパガンダ」: 主義や思想の宣伝のこと  
proclaim that ~ 「~だと宣言する」  
regime 「政権」  
portrait 「肖像画, 肖像写真」  
technician 「専門家, 技術者」  
manipulate A 「A を改ざんする, 操作する」  
There is no way to V 「V する手立てがない, V するのは無理だ」  
balanced 「公正な, 偏りのない」  
assume A 「A を引き受ける」  
walrus 「セイウチ」  
spear 「やり」  
persuasively 「説得力をもって」  
deep-seated 「根深い」  
body 「組織, 機関」  
call A forth 「A を引き起こす」  
soul 「(事物の) 本質的部分」

(中島匠, 大西功泰)

## B

出題範囲	英文和訳
難易度	★★☆☆☆
所要時間	15分
傾向と対策	第4問は通例だとこのような英文和訳問題が出題される。特にこの年は構文や語彙が特に高度なわけではないため、文脈をしっかりと理解し、できるだけ満点に近い解答を目指す必要がある。ほかの設問の得点を上げるためには、この設問ではできるだけ早く英文の構造を把握し、文脈にも照らしつつ最適な訳を見つけなくてはならない。それは問1や問5、あるいはリスニング問題に対応するのに前提となる技能であり、そのためこの設問は特に非海外経験者にとっては東大対策の足掛かりともいえる。

## 本文訳

いかにして1人でいられる力は育まれるのだろうか。注意と丁寧な会話があつてこそ、なのだ。

子どもたちは自分に注意を向ける他者がいるところで、1人でいられる能力を発達させるのである。2歳の娘を入浴させる、ある母親を想像してほしい。娘にお風呂のおもちゃで空想をさせてやり、その間に娘は物語をつくり上げて、考え事をしながら1人でいられるようになるのだ。自分の母親がいて、構ってもらえると知っているのに。徐々に、お風呂に1人で入るようになり、お風呂の時間は子どもが心地よく想像を広げる時間になっていくのだ。愛情は1人でいることを可能にするのだ。

ある哲学者の美しい金言がある。「言語は、“loneliness”という言葉を作り、1人でいることの苦痛を表すために創った。言語は、“solitude”という言葉を作り、1人でいることの誉れを表すために創った」。(ア) 寂しさというのは、ぬくもりが最も必要なときである幼少期にぬくもりを欠いていたことから生じ、感情的、そして身体的にさえ苦痛なものである。1人でいること—満足して、前向きに1人でいられること—は、ちょうどその時の人とのつながりがうまくいったことによってできる。しかし、もし1人でいる経験がなければ—そしてこれは今日においてしばしばあるのだが—孤独であることと1人でいることを同一視し始めるのである。これは私たちの経験不足を反映している。もし1人でいることの満足を知らなければ、孤独の恐怖を知るのみだ。

最近のことだ。ボストンからニューヨークに向かう電車に乗ってパソコンで作業をしている間、乗っている電車が素晴らしい雪景色を通り過ぎた。(イ) たまたまコーヒーを買いに行く途中に外を見なければ、見事な雪景色の中を通過しているということに私は気づかなかっただろう。その時、私は電車に乗っているほかの大人がみんなコンピューターを見つめていることに気づいた。(ウ) 私たちは1人でいるために必要な時間をより有益に用いるべき資源と見なすので、1人でいることの恩恵を自ら放棄している。今日では1人になって考える(もしくは考えない)ことに時間を使う代わりに、私たちは急いでデジタルのつながりで時間を埋めてしまうのである。

## 解答例

本文訳参照

## 解説

(ア)

Loneliness is emotionally and even physically painful, (born from a lack of warmth in early childhood, when we need it most).

下線をつけたところが文の主節である。( )を施した箇所は分詞構文にあたり、loneliness をうしろから修飾している。また when we need it most は分詞構文の中の childhood を同格表現で説明している。

(イ)

I wouldn't have known this but for the fact that I happened to look outside on my way to get a coffee.

but for the fact that ~ について、「～しなければ」は仮定法で用いられることの多い but for に the fact という名詞をつなげ、その fact の内容を that 以下で説明する形となっている。これによって、単体だと通常うしろには名詞しか取れない but for が (訳すうえでは) 接続詞のような役割になっている。ここでは「たまたま外を見なければ」という意味で解釈できるのである。主節に仮定法過去完了が用いられていることに注意して訳そう。

(ウ)

We deny ourselves the benefits of solitude because we see the time (it requires) as a source to use more profitably.

deny には「～を与えない」という意味もあり、ここではその意味。because 以下の( )で閉じた部分は the time にかかる関係代名詞の目的格であり、it は solitude。これは、「1人であること」に必要な時間をほかの「有意義なこと＝デジタルのつながり」で埋めてしまっているという次の文からわかる。

**表現**

solitude 「1 人でいること」

cultivate A 「A を高める, みがく」

in the presence of A 「A を前にして」

attentive 「思いやりのある, 親切的な」

daydream 「空想する」

formulation 「明確な記述, 表現」

glory 「誉れ, 至福」

contentedly 「満足して」

equate A 「A を同一視する, 同等とみなす」

panic 「恐怖」

pass through A 「A (場所) を通り抜ける」

stare at A 「A をじっと見つめる」

deny A B 「A に B を与えない」

profitably 「有益に」

hurry to V 「急いで V する」

(中島匠, 峯岸佑奈)

# 2017 年度 東京大学 前期 英語

## 第 5 問

出題範囲	長文読解
難易度	★★★★☆
所要時間	20 分
傾向と対策	2017 年度の第 5 問は自らの保護者との奇妙な関係を語り手目線で描いた物語が題材となり、例年どおり長文読解問題が課された。物語のテーマは一貫して、ドリスとの関係についてであったため、物語の中では比較的読みやすい部類に入ったのではないだろうか。設問に関しても、近年の東大英語としては標準的な出題形式であった。

### 本文訳

ドリスが昨年 94 歳で亡くなったとき、私は彼女と 50 年間知り合いだった。その間ずっと私は、彼女の人生における私の役割はいうまでもなく、私の人生における彼女の役割を適切かつ簡潔に言い表す呼び方を見出すことができなかった。私たちには、最も近い関係にある人々を表現するための便利な言葉が一そろいある。母、父、娘、息子、おじ、おば、いとこ。ただ、現代の西洋社会においては (A) この程度でとどまるのが通例だ。

ドリスは私の母ではなかった。私が彼女と一緒に住むべく家に入れてもらおうとドアをノックしてから彼女がドアを開けるまで、私は彼女に会ったことがなかった。彼女のことをほかの人になんと言えよいか？ 数カ月の間私はドリスとともに暮らし、彼女の友だちのオフィスで働いてタイピングを学んだ。それから、苦労しながらも彼女は私の父に私を学校に戻すことを許してくれるよう説得した。彼は私が 11 歳のときに、その数年前に入れられた進歩主義の男女共学全寮制の学校から退学させられたあと、罰として私がこれ以上の学校教育を受けることを認めなかったのであった。私が退学させられた理由は、町のパーティーに行くために 1 階のトイレの窓から抜け出したからだだった。私の父のほうが折れて、ドリスは私を新しい学校に入れた。

新しい学校では、10 代の若者たちが、彼らにとってはいつもの言葉で絶えず自分の親について話し、文句を言っていた。私はドリスのことを養母として話すことができただろうか？ 彼女は私を養子に迎え入れることを提案はしたが、実際には養子にはしなかった。私の母はお得意の金切り声の爆発によって、ドリスが私を養子にしようものなら訴えてやると脅した。それで、養子にするという提案はひっそりと白紙になった。正確ではないものの簡単な解決策として、私はときにお構いなしに「養母」と呼んだ。彼女のことをどう呼ぶかは私にとって重要なことであった。私が発言を求められたとき、自分の保護者に言及するために「ドリスは私の、えっと……養母みたいな……私の、えっと……ドリスは……」と言ったときはいつも、間違っただけの印象をあたえていることに気づいていた。

どういうわけか、正確であること、私の状況を説明できるような単純な所有格の語句を探すことは、とても重

要なことであった。私はうそをつきたくはなかったし、私の状況を他人に正確に要約して伝える何らかの方法を私は確かに欲しかった。しかし私は養子ではなかった。私の両親は両方ともまだ生きていたし、(私から見れば、実に残念なことに) いまだに私と連絡を取り合っていた。

もともといた学校から退学させられたあと、私はバンベリーに住んでいる父のもとから逃げ出し、ホヴに住んでいる私の母のもとへ、彼女が住んでいた非常に小さなアパートでともに暮らすために向かった。私がとるべき最善の行動が部屋の隅でくるまり、何かを食べたり言葉を発したりしないことだ、というように感じられるまで、母のもとでの滞在はほんの数日しか続かなかった。「どうして私をこんな目に遭わせるの? どうしてほかの子どものようにちゃんとできないの?」と彼女は叫んだ。

私を両親から引き離すことが得策だと考えられたため、当局は私に食べ物をあたえてくれたあと、私をホヴにあるレディ・チチェスター病院に入れた。それは大きな一戸建ての建物の中にあつた小さな精神科の部署だった。私はそこでみんなの子どもになり、職員も患者も私の面倒を見てくれて、ほかの人が抱えている問題の最も嫌な部分から私を守ろうとしてくれた。私はこのことに感動し、ようやく心が休まり面倒をよく見てもらっていると感じるようになった。

私は不思議にも妊娠し、私がそのことを受け入れるのを医師が待っているという密かな恐れを抱くようになった。それ以外では、私の精神にまったく異常はなく、病院の人たちも私を治療しようとはしなかった。私はそこに4カ月間滞在し、薬による治療もなく、ホヴの浜辺に座って海をながめては長い時間を過ごした(かつてないほどの量の氷や雪に見舞われた冬の頃であった)。病院の人たちはそんな中、私をどうしたものかと考えあぐねていた。

すると、私は突然ドリスから手紙を受け取った。その手紙には、私はドリスのことは知らないけれども彼女のほうは私のことを学校で同じクラスだった息子から聞いて知っていると書いてあつた。想像に難くないだろうが、いたずら好きなジェニファーが退学処分を受けていまでは精神病院に入っているという、過剰に興奮気味のうわさ話が学校では流れていた。

息子のピーターからドリスへの手紙の中で、彼は無邪気な寛大さをもって(なぜなら私たちは学校で互いに仲良くなるはずもなかったからだ)、私は「かなり賢かった」ため、何となく病院の人たちが私を助けることができなのではないか、と思ったということが書かれていた。ドリスは私への手紙で、彼女がちょうど自分の初めての持ち家に移り住んだこと、その家には集中暖房システム(彼女はそのことに関してとりわけ誇りに思っていた)と空き部屋があること、だから私がそこに滞在するといいだろう、そしてもしかしたら、父の気が進まないものの、学校に戻って試験を受けて大学に行くといいだろうということを言っていた。私がどのくらいの間滞在するよう招かれていたのかは手紙の中ではっきりと書かれていなかったが、大学に行くということは、その滞在が長期的なものであるということを示唆していた。

私はその手紙を何度も読んだ。最初に読んだときは <sup>(B)</sup> 肩をすくめるような 気持ちだった。「ああ、なるほど。これが次に私に起こることなのね。」予想外の出来事が私の幼少期に頻繁にかつ段々と多く私の身に起こり過ぎて、それらがふつうのことと感じられた。私はそれらの出来事を客観的かつ受動的に受け止めるようになった。

それから私は手紙を読み返し、私には守護天使がついているということに驚きを感じた。それから恐れを感じた。それからまた、ある程度の失望、そしてこの提案を受けるかどうかということに関するいくら現実的な考えが頭に浮かんだ。そして最終的にはこれらすべての反応が混ざり合い、自分が感じる恐怖や期待に、あるいは招待を出したこの見知らぬ人に対してどのように反応すればよいのか、私にはわからなかった。

したがって、ドリスは私の母親ではない。そして、<sup>(c)</sup> 社会的に気まずい瞬間 はさておき、彼女が私にとっての何なのかという問題は、考えないでおいたほうがよいほかの問題とともに棚に上げられていた。

### 解説

#### (A) 正解は all

下線部(A)周辺を見ると、親戚関係を表すさまざまな単語がある。これらの単語とは別に西洋社会で用いられるもっと厳密な言葉があるかもしれないが、普段使う言葉の中でいま挙げられるのはこれだけだ、というニュアンスである。

下線部の that は a handy set of words を指し、as far as it goes は「(完ぺきとはいえないが) ある程度までは」といった意味である。

まず空欄に入れる単語を絞ろう。言い換え部の use は他動詞であるため目的語が必要だが見当たらないため、空欄には関係代名詞が入る。また、that's = that is であるから空欄には補語の名詞が入るが、which や that は補語にはできない。そのため、空欄に入る関係代名詞は what や all といった「名詞＋関係代名詞」のはたらきをもつ特殊なものに限られる。

さらに、ここでもう 1 度文章中の下線部を見ると、as far as という「限定」を表すフレーズが使われているとわかる。よって「限定」の意味を併せもつ all を入れるのが最も適切。

#### (B)

##### 解答例

幼少期から頻繁に予想外のことが起きてきたため、それをふつうのことと思い客観的かつ受動的に受け止めるようになった筆者は、ドリスから手紙をもらいその内容を読んだときも、他人事のように感じてしまったから。

shrug は「肩をすくめる」という意味である。ここでは、実際に肩をすくめているわけではなく、肩をすくめるような気持ち、つまり他人事であるように感じているということである。このように感じている理由は下線部(B)のあとの Unexpected things ~ with a detached passivity の部分に書かれているので、解答はこの部分をまとめればよい。

(C)

**解答例**

ほかの人にドリスとの関係を説明するときに適切な言葉が見つからず困ったとき。

本文中で筆者が awkward 「気まずい」と感じる場面を探す。第 3 段落の最終文において、筆者が言葉につまりながらドリスが自分の何であるかを説明するセリフが書かれている。これが「気まずい」と感じる所であると考えられる。また、第 2 段落の第 3 文 What should I call her to others? や第 3 段落の Could I refer to Doris as my adoptive mother? のように筆者が度々疑問を提示していることから、筆者はドリスが自分の何であるか、自分とどういう関係かがわからずにいるということがわかる。このような状況にいる筆者が他人にドリスを説明する際に先ほど述べたように言葉がつまってしまうという「気まずい」場面を簡潔にまとめればよい。

(D)

(ア)

(26) **正解は a**

空欄前後を見ると筆者は、ドリスの筆者自身の人生における役割を説明する(26)を 1 度も考え出そうとはしなかったとある。(26) にはドリスの役割を説明する何か、そして筆者が 1 度も答えを導き出そうとはしなかったような何かを表す単語が入ることになる。本文中では度々筆者が、ドリスと筆者との関係やドリスが自分の何であるかがわからないと言っている。また、本文最終文では筆者がその未解決問題を棚に上げていたということが書かれている。以上を踏まえると最も適切なものは a) になる。designation には「名称、呼称、称号」という意味があり、「ドリスの役割を説明する名称」とはすなわち「ドリスが自分の何であるか」という意味になり、文脈に沿う。

(27) **正解は g**

筆者が退学させられたあと、筆者の父が(27)として筆者がこれ以上の学校教育を受けることを拒んだ、という文脈になるが、この文脈に最も適切なものは「罰」を意味する g) punishment であると考えられる。As a (27) という形を見て、h) result を入れてしまう人がいるかもしれないが、その場合父が筆者を学校に通わせないのは、前文に書かれている「ドリスが父に、筆者を学校に戻すよう説得した」結果であることになってしまい、文脈が通らなくなる。

(28) **正解は j**

空欄直前の sum up は「要約する」という意味である。私の何をほかの人に正確に要約するのかということを考えれば、(28)に入るものは「状況」を意味する j) situation となる。直前の文でも my circumstances と、situation に似た単語が使われていることから答えを推測することができる。

## (29) 正解は e

「部屋の隅にくるまったり、何かを食べたり言葉を発したりしない」ということが最善の何か、というふうに考えれば、(29)には「方法」「行動」などが入りそうだと考えられる。選択肢の中では e) move 「処置、手だて」がこの文脈に最も近い。

## (30) 正解は c

「不思議にも妊娠し、医師が私がそのことを受け入れるのを待っている」というのは筆者の密かな何であるかを考える。空欄直後の文で、Apart from that, I wasn't mentally ill at all 「それ以外では、私は精神にまったく異常はない」とあることから、先ほど述べたことは筆者が精神異常によって生み出されたある種の妄想ということになる。筆者はどのような気持ちでこの妄想を抱いているかを考えれば、c) fear 「恐れ、恐怖」が最も適切であると考えられる。

## (イ) 正解は c

## 選択肢訳

- a) 筆者はドリスとの関係を定義するのに苦労していた。
- b) 筆者の母は筆者がドリスの養子になってほしくなかった。
- c) 筆者に関する悪いうわさが新しい学校で流れていた。
- d) ドリスの息子は、筆者がとても賢かったため筆者を助けたかった。
- e) 筆者がドリスからの手紙を受け取ったとき、彼女は病院で過ごしていた。

各選択肢を吟味していく。

- a) 第 2 段落第 3 文 What should I call her to others? や第 3 段落の Could I refer to Doris as my adoptive mother? のように筆者が度々疑問を提示していることから、筆者はドリスが自分の何であるか、自分とどういう関係かがわからずにいるということがわかる。また、第 3 段落最終文 It mattered how I referred to her や第 4 段落第 1 文 For some reason ~ was very important などからわかるように、筆者はドリスとの関係を明確にしたがっていた。しかし、本文最終文にあるようにこの問題は棚に上げられていることから、筆者がこの問題を解決できずにいる。以上のことから、a)は本文の内容と合致している。
- b) 第 3 段落第 4 文に、筆者の母が、筆者を養子にしようとするドリスを脅しているとあるので、b)は本文の内容と合致している。
- c) 第 8 段落最終文に、筆者のうわさが飛びかっているという記述は存在するが、そのうわさは筆者がもともといた学校で流れているものである。そもそもこの時点では筆者はドリスにまだ会っておらず、それゆえまだ新しい学校にも通っていないので新しい学校でうわさが流れているとは考えにくい。そのため本文の内容とは合致せず c)が正解となる。

- d) 第 9 段落第 1 文に、筆者が賢かったため病院の人が筆者を助けることはできないということ、ドリスの息子がドリスに手紙で書いていることから、ドリスの息子は多少なりとも筆者の力になりたいと考えていると考えてよいだろう。よって d) は本文の内容と合致しているといえる。
- e) 第 8 段落第 1 文に筆者がドリスから手紙を受け取ったという記述があるが、第 6 段落で精神科病院に入れられた筆者はこの時点でもまだ病院にいるので、e) は本文の内容と合致している。

(ウ) 正解は d

選択肢訳

- a) 破滅的な
- b) 違法の
- c) 情熱的な
- d) 型にはまらない
- e) 不安定な

筆者はドリスとの関係がどのようなものを説明できず、彼女たちの関係を的確に表す言葉も見つけられずにいる。第 2 段落第 1 文で筆者はドリスが自分の母親ではないと言っているものの、ドリスは彼女にとって母親のような存在であり、ともに暮らしてもいたので養母といえるかという点、第 4 段落第 3 文にあるように養子にはなっていないので、そうともいえない。このように 2 人の関係ははっきりとこうだと言いきれない。このような関係は d) unconventional 「型にはまらない」というのが最も適切であろう。

- a) 2 人の関係は、筆者とその両親の関係よりもよかったものと読み取れるため、不適である（むしろ母との関係は破滅的であったといえなくもない）。
- b) 2 人は養子縁組をしていないが、2 人の間に違法性があったという記述は本文中で見受けられないので不適。
- c) はっきりとこれが間違いだという記述は見受けられないが、2 人が互いに情熱的であったことは読み取れないので不適。
- e) 2 人の関係はむしろ筆者とその両親の関係よりも安定的であったとも読み取れる（筆者と母との生活が数日しか続かなかったことなど）ため、不安定と表現するには不自然であり不適。

## 表現

let alone A 「A はいうまでもなく」

handy 「使いやすい, 便利な」

a set of A 「A 一式, 一連の A」

allow A in 「A に入室を許す」

turn down A 「A を却下する, はねつける」

schooling 「学校教育 (を受けること)」

expel A 「A を退学にする」

progressive 「進歩主義の」: 20 世紀前半にアメリカで進歩主義教育とよばれる児童中心主義的な新教育運動が流行した

adoptive 「養子関係の」: 通常父母側に用い, 子ども側を修飾するのは adopted

fit 「発作, 暴発」

sue A 「A を訴える」

drop A 「A (計画や習慣) をやめる」

adult-in-charge 「保護者」

for some reason 「どういうわけか」

possessive 「所有格の」

sum up A 「A を要約する, まとめる」

be in contact with A 「A と連絡を取り合っている」

roll up 「丸くなる, くるまる」

decent 「きちんとした, まともな」

the authorities 「当局」

psychiatric unit 「精神科」

detached 「孤立した, 離れた」

shield A 「A を保護する, かばう」

be well cared for 「面倒がよく見られている, 手入れが行き届いている」

mysteriously 「不思議なことに」

come to terms with A 「A を受け入れる」

apart from A 「A は別として」

treat A 「A を治療する」

medication 「投薬治療」

unprecedented 「前例のない」

over-excited 「極度に興奮した」

go on 「～し続ける」

**madhouse** 「精神科病院」：古い言い方  
**generosity** 「寛容さ，寛大さ」  
**by no means** 「決して～ない」  
**get on with A** 「A と仲良くやる」  
**central heating** 「集中暖房システム」  
**spare room** 「客間，空き部屋」  
**shrug** 「肩をすくませること」  
**passivity** 「消極的なこと，受け身なこと」  
**guardian angel** 「守り神」  
**mixed** 「入り混じった」  
**aside from A** 「A はさておき，A は別として」  
**lay aside A** 「A を棚上げにする」  
**along with A** 「A と一緒に，A とともに」

(松永尚也，山藤孝介)